

じんけんの風

2019 Spring
春号 vol.36



宮崎県人権啓発
シンボルマーク

宮崎県人権啓発センターだより

「人権」とは、人間らしく幸せに生きるための権利。だれにとっても身近で大切なものです。思いやりの心をもって、みんなで「じんけんの風」を吹かせましょう。

JINKEN NO KAZE

〔特集〕

障がい者スポーツと人権

自分を
超える
未来へ
超える



● じんけんinterview

鍼灸師

大庭 康資さん 3

● 宮崎県教育委員会では「いのちを大切に教育」の
推進に取り組んでいます 4

● STOP! 高齢者虐待 5

● 3月は「自殺対策強化月間」です
～ひとりで悩まないで！誰かに話してみませんか？～ 6

● ひとりで悩んでいませんか？
～「女性に対する暴力をなくす運動」～ 7

● 職場におけるセクシュアル・マイノリティへの
ハラスメント『SOGIハラ』とは？ 8

● 宮崎県人権啓発推進協議会の事業の紹介 9

● おすすめDVD紹介／私たちの人権講座 10

障がい者 スポーツと人権



**スポーツは障がいの
あるなしにかかわらず、
すべての人にとって
基本的権利です。**

いよいよ 2020年は、「東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。

選手たちがスポーツを通じてライバルと競い合い、それぞれの目標に向かって頑張ることは、選手の心と体を成長させるだけでなく、応援する多くの人々にも感動と勇気を与えてくれます。

来年の8月～9月の期間、みんなで選手たちを精一杯応援しましょう！

今回は、様々な情報誌等で特集が多く見られるようになり関心が高まってきている「障がい者スポーツ」について特集します。

Q 障がい者スポーツとは何ですか？

A 健常者スポーツと何ら変わるものではありません。アダプテッドスポーツ・パラスポーツとも呼ばれています。ただし、身体的機能や知的発達段階が異なるため、次の3つに特徴があります。

①クラス分けや持ち点制度

障がいのレベルに応じて持ち点が決められる

②スポーツを人間に合わせる(アダプテッド)

一人ひとりの身体条件にスポーツを合わせていく

③創るスポーツ

する、見る、支えるだけではなく、上の①・②のように修正したり用具に工夫を凝らしたりして障がいのある人もスポーツができるようにしている

Q 障がい者スポーツの効果は？

A スポーツに参加することで障がい者の「機能回復、健康の維持・増進」や「社会的自立、社会参加」が進み、それによって受け入れる社会や周囲の意識が良い方向に変わってきています。



パラリンピックは世界最高峰の障がい者スポーツの祭典

1948年のロンドンオリンピック大会と時を同じくして、「車いす患者によるアーチェリー大会」が開催されました。これが、パラリンピックの原点と言われています。

その後、国際大会にまで発展し、1960年のオリンピック開催国であるイタリア（ローマ）で開催された「国際ストーク・マンデビル車いす競技大会」が第1回パラリンピックとなります。この大会には、23カ国から400人もの車いす選手が参加し、車いすによるポロやバスケットボールなどの競技が行われました。

1964年には「第2回東京パラリンピック」が開催され、これを契機に日本国内でも障がい者スポーツが大きな広がりを見せました。

2000年にオリンピック開催国はパラリンピックを同時に開催することが正式に決まりました。

オリンピック・パラリンピックは、国連の「世界人権宣言」に明記されている「すべての人間は生まれながらにして自由で平等」であるという理念を基に、スポーツを通じて「人権を守り平和に貢献する」ことを目指しています。スポーツを通じた人権についての理念は、「オリンピック憲章」や「パラリンピック委員会ハンドブック」にもしっかりと明記されています。



「物理的バリアフリー」から「心のバリアフリー」へ

障がい者スポーツは、障がいのない人も一緒に楽しめるスポーツです。

2020年東京パラリンピックを契機に、スポーツで共に汗を流し、楽しみながら、お互いを理解し合い、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」を実現しましょう！



宮崎の障がい者スポーツについては
「宮崎県障がい者スポーツ協会」

までお問い合わせ下さい

所在地：宮崎市原町2-22

(県福祉総合センター内)

☎0985-27-7417

障がい者スポーツを通して伝えたい 心のバリアフリーの大切さ

鍼灸師
大庭康資さん



昨年11月、スペインで開催された空手の第3回世界障害者選手権に出場した高鍋町の鍼灸師・大庭康資さん。男子視覚障害者部門で、みごと金メダルを獲得しました。障がい者スポーツに対する想いや今後の抱負についてお聞きしました。

失明を機に出会った空手

過去、銀・銅メダルに終わっていた世界選手権で、ようやく金メダルを取ることができてほっとしています。表彰台の一番高いところで「君が代」を聞いたのは感無量でした。指導をくださった深水憲一先生をはじめ、支えてくださった方々に感謝しています。

私は生後間もなくして左目を失明しました。右目も徐々に視力が落ち、22歳のときに手術をして回復を望んだのですが全盲となりました。子どもの頃から体を動かすことが大好きだったのですが、右目の心配をして運動を制限せざるを得なかった時期が一番辛かったです。なので、全盲になってからは思いっきり体を動かせることを何か始めようと思いました。縁あって、深水先生の道場にお世話になることにしました。武道はもともと好きでしたから。

身体を鍛え、心を鍛える

私はもともとカンフー映画が好きだったので、空手をすることに抵抗はありませんでした。国内の視覚障がい者の大会では組手がありますが、現在の世界大会では形を競うものとなります。はじめは方向感覚や姿勢などを修得するのに苦労しました。深水先生の体を触らせてもらったり、逆に先生に私の身体を動かしてもらったりして形を覚えしました。なかには高く飛んで180度向きを変えて着地するような技もあるので、まっすぐぶれない身体感覚を身につけることと同時に、平常心で臨めるような心も鍛えなければなりません。

鍼灸師という職業柄、体の仕組みや筋肉の動きなどを知っていたことは空手にも生かされました。逆に空手を始めたことで皮膚感覚が研ぎ澄まされ、人との距離感や方向感覚がつかめるようになるなど日常面のプラスもありました。今の目標は、2年後に行われる世界選手権で連覇すること。また、もっと障がい者空手を知ってもらって、パラリンピック採用につながればうれしいですね。

あたり前に声をかけ合える社会に

海外に出てみて思ったことですが、西洋は障がい者に対する心のバリアフリーが進んでいます。健常な人も、障がいのある人もいて当たり前。日本ではまだまだ特別視するところがありますね。また海外では障がい者スポーツに対する理解や支援もかなり進んでいます。日本ではまだまだ注目度は低いですし、障がい者スポーツの中でもパラリンピックに採用されると採用されないのとでは大きな差があります。もっともっと皆さんに知ってもらって、サポートの輪が広がるといいと思います。ちなみに、今回の世界大会のことがその日のスペインのローカルニュースでふつうに放送されていて、「あっ、自分が出てる！」と驚きました。

以前に比べれば日本でもバリアフリーが進んでいます。障がいのある方がどんどん一人で表に出られる社会になるといいなと思います。私は一人で出かけたりするんですよ。障がい者にとっては自立につながるし、他の方にとっても理解のきっかけになります。「何か手伝いましょうか」「お願いします」または「今は大丈夫です。ありがとう。」というような会話が普通にできる、心のバリアフリーが実現できるといいですね。

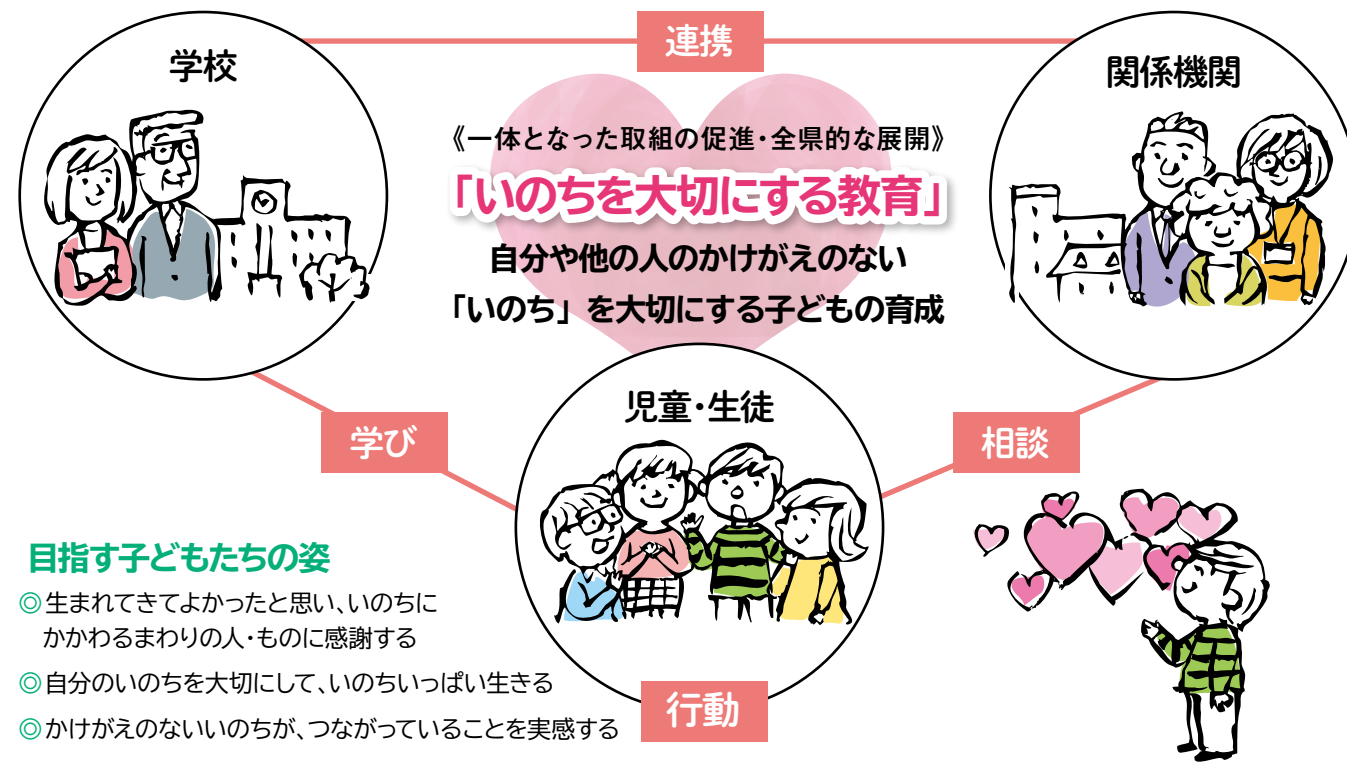
おおば・やすし
はりこや治療院
鍼灸師
休日の楽しみ／
読書（音訳図書）、
歴史小説が好き
好きな言葉／使命



宮崎県教育委員会では 『いのちを大切にする教育』 の推進に取り組んでいます

「いのちを大切にする教育」の推進とは？

各学校でそれぞれが行っているあらゆるいのちにかかわる取組を、学校、家庭、地域及び関係機関が相互に連携しながら、子どもたちが自他のいのちがかけがえのないものであることを実感できる教育を推進します。



宮崎県「いのちを大切にする教育」 ロゴマーク



宮崎県「いのちを大切にする教育」

「いのちを大切にする教育」というテーマをもとに、大きな愛がいのちを包み込んでいるイメージで作成しました。親と子、人間と動物、植物などのいのち同士が守り守られていく連鎖も含まれています。地域や世代間とのつながりが希薄だったり、自己肯定感の低い子どもが多い世の中で、このロゴを通してお互いを支え尊重し合うことの大切さが少しでも伝わってくればと思います。

【宮崎工業高校清水亜美さんの作品】



自分や他の人のいのちがかけがえのないものであることを実感する教育を
それぞれの学校の様々な場面で取り組んでいきます。

STOP! 高齢者虐待

平成29年度に養護者（家族等）による虐待について、宮崎県内の市町村に寄せられた相談・通報件数は216件、事実確認の結果、高齢者虐待と認められた事例が113件（虐待された人の人数は117人、虐待者は131人）に上っています。

高齢者虐待を防止するために

身近な相談窓口を活用しよう

介護による負担を軽減するためにも認知症や介護に関する正しい理解を深めましょう。高齢者の介護を担う家族は、心身ともに大きな負担を抱えることが多いと考えられます。ひとりで介護の悩みを抱え込まず、適切な介護サービス利用などについて市町村の相談窓口やお近くの地域包括支援センターへ相談しましょう。

地域で支え合いましょう

近所とのつきあいがなく孤立している高齢者世帯などへの声かけや見守りが、虐待を未然に防ぎ、助け合える地域づくりの一步になります。

高齢者虐待を早期に発見するためには、虐待を疑わせるサインを見逃さないことが大切です。

check!

✓ 高齢者にみられるサイン

- ☐ からだに不自然なけがやアザがある。
- ☐ 「怖いから家にいたくない」などの訴えがある。
- ☐ おびえる、わめく、泣くなどの症状がみられる。
- ☐ 無力感、あきらめ、なげやりな様子になる。
- ☐ お金があるのに生活費の支払ができない。
- ☐ 部屋に衣類やおむつなどが散乱している。
- ☐ 悪臭がしたり、服が汚れている等不衛生である。
- ☐ 薬や届け物が放置されている。

check!

✓ 介護者にみられるサイン

- ☐ 介護に疲れている。
- ☐ 無気力、投げやりである。
- ☐ 高齢者を怒鳴る、しつけと言って叩く。
- ☐ 介護サービスを受けさせない。
- ☐ 病院への受診を拒んでいる。

虐待の種類

- 身体的虐待
- 経済的虐待
- 心理的虐待
- 性的虐待
- 介護・世話の放棄・放任



チェックが付いた項目が多いほど、虐待の可能性が高い状態です。

お住まいの市町村や地域包括支援センターへご相談・ご連絡ください



3月は「自殺対策強化月間」です

ひとりで悩まないで！誰かに話してみませんか？

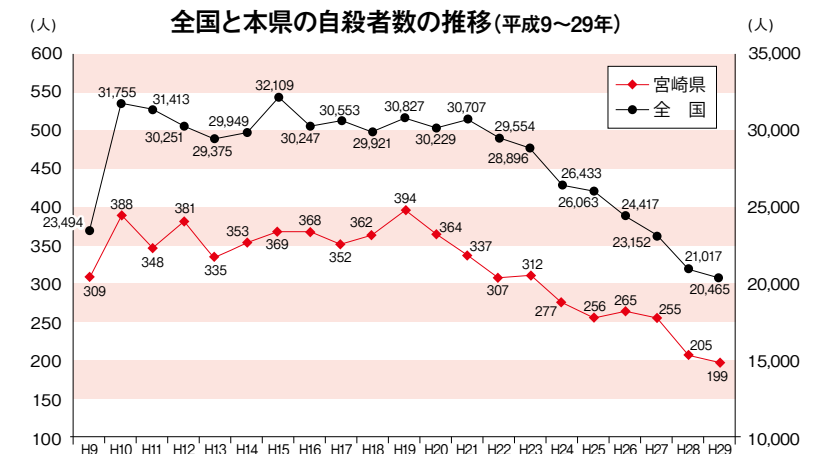
あなたの大切な人のいつもと違う言葉や態度に気づいてください。

例年、自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定め、国や県、市町村、関係機関が連携し、悩みを抱えた方が必要な支援を受けられるよう、重点的に相談支援や広報活動等を展開しています。

厚生労働省「人口動態統計」によると、平成29年に全国で20,465名、本県でも199名の方が自殺により亡くなっています。

また、本県の自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、18.4人と全国で9番目に高くなっています。

県民の皆さま一人ひとりの「悩んでいる人に気づき、声をかける」という取組が地域における自殺を予防することにつながります。誰も自殺に追い込まれることのない地域社会の実現を目指して、今、私たちにできることから始めましょう。



誰かに話をするだけで、気持ちが楽になることもあります。

こころの相談窓口

*月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
8:30～17:15

夜間電話相談

- 宮崎県精神保健福祉センター ☎0985-27-5663
- 中央保健所 健康づくり課 ☎0985-28-2111
- 日南保健所 健康づくり課 ☎0987-23-3141
- 都城保健所 健康づくり課 ☎0986-23-4504
- 小林保健所 健康づくり課 ☎0984-23-3118
- 高鍋保健所 健康づくり課 ☎0983-22-1330
- 日向保健所 健康づくり課 ☎0982-52-5101
- 延岡保健所 健康づくり課 ☎0982-33-5373
- 高千穂保健所 健康づくり課 ☎0982-72-2168
- 宮崎市保健所 健康支援課 ☎0985-29-5286

- ライフネット宮崎 ☎0985-28-2555 *火・木・土曜日19:00～23:00
- 宮崎自殺防止センター ☎0985-77-9090 *日・月・水・金曜日20:00～23:00

自死遺族のつどい

大切な人の自死について、誰にも話すことができず、長い間、たった一人で苦しんでいませんか。同じような体験をされた遺族の方々が、安心して語り合い、思いを分かち合える場合があります。同じ悩みや苦しみを抱える仲間との出会いが、あなたの手助けになるかもしれません。

NPO法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター

『ランタンのつどい』

開催日：原則として毎月第2土曜日 14:00～16:00
場 所：宮崎県立図書館2階
問合せ：県精神保健福祉センター ☎0985-27-5663 (平日8:30～17:15)

小林保健所

『わかちあいの会』

開催日：毎月第4木曜日 13:00～15:00
場 所：小林保健所
問合せ：小林保健所疾病対策担当 ☎0984-23-3118 (平日8:30～17:15)

このほか、県では、健康や金銭問題など、日常の様々な悩みごとに対応している専門の相談機関を掲載する自殺予防ポータルサイト「ひなたのおせっかい」を運営しています。是非、「ひなたのおせっかい」にアクセスをお願いします。

check



ひなたのおせっかい

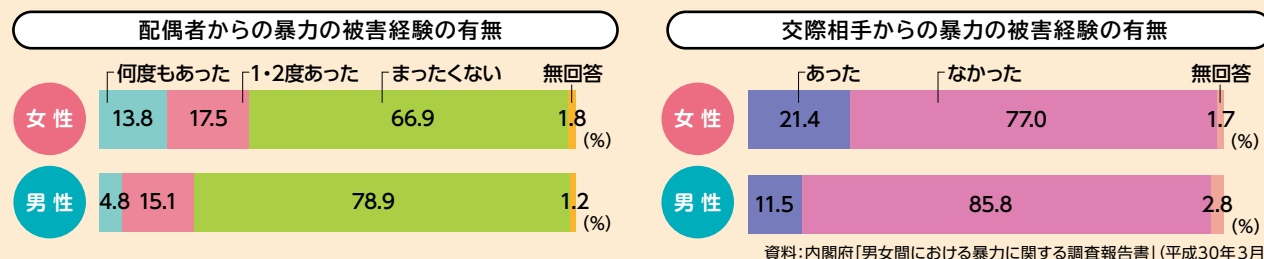
『女性に対する暴力をなくす運動』

配偶者やパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス（DV））、性犯罪、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為など、女性に対する暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。

暴力そのものは、性別やお互いの間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、特に、女性に対する暴力の根底には、「女性は男性に従うもの」、「理由があれば暴力をふるっても仕方がない」など、女性の人権を軽視する気持ちがあるからと言われています。

例えば、DVは家庭内で行われることが多く、被害者自身に「これは暴力なんだ」という自覚がない場合もあり、被害が深刻化しやすい傾向にあります。また、結婚していないパートナーからの暴力をデートDVといい、若年層の間でも問題となっています。

社会全体で、男女が互いに尊重し合う意識や「暴力は許さない」という意識を持つことが大切です。



女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日から25日までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です。

この期間には、県内で、女性に対する暴力根絶のシンボル、パープルリボンにちなんだ県庁本館のパープル・ライトアップをはじめ、パープルリボンキャンペーンやパネル展などのイベントが行われています。



県庁本館ライトアップ



パープルリボンキャンペーン

今年度は、平成30年11月19日に、県庁本館のパープル・ライトアップに合わせ、日頃から女性に対する暴力をなくす取組を行っている、またはその取組に賛同される個人・団体・企業の皆さんが「パープルリボンキャンペーン2018」を実施されました。

このイベントで行われたダンスパフォーマンス「Break the chain」は、地球上の女性の3人に1人、約10億人がその生涯に強姦や暴力の被害に遭うという国連の統計を元に、女性の権利向上を求めて10億人（＝one billion）に対して立ち上がろうと呼びかけるOne Billion Rising運動の一環として世界各地で踊られています。

宮崎オリジナルバージョンの動画がYouTubeでご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=DBojcw38LPQ>



ダンスパフォーマンス「Break the chain」

相談窓口
秘密

相談機関		電話番号	相談時間
宮崎県女性相談所 (配偶者暴力相談支援センター)	☎0985-22-3858		月～金 9:00～20:30 土・日 9:00～15:00
	警察安全相談	警察本部☎0985-26-9110 (短縮ダイヤル#9110) または各警察署	終 日
宮崎県男女共同参画センター		☎0985-60-1822	月～金 9:00～17:00 土 9:00～16:30

DV相談ナビ 最寄りの相談窓口
に転送されます

☎0570-0-55210

※緊急時は迷わず110番へ

さぽーとねっと宮崎〔性暴力被害相談電話〕

☎0985-38-8300

月～金 10:00～16:00 (祝日・年末年始を除く)

職場におけるセクシュアル・マイノリティへのハラスメント

『SOGIハラ』とは？

セクシュアル・マイノリティ（性的少数派）へのハラスメント『SOGIハラ』をご存じですか？「性的指向（Sexual Orientation）」や「性自認（Gender Identity）」に関連して、差別的な言動や嘲笑、いじめや暴力などの精神的・肉体的な嫌がらせをすることです。平成29年1月に改正された男女雇用機会均等法では指針が見直され、それまでは異性間または同性間を対象としていたセクハラに加え、セクシュアル・マイノリティに対するセクハラも対象となりました。

例えば、職場で「あの人がオカマっぽくない？」と嘲笑したり、「ホモ」「オカマ」「レズ」などの差別的な言葉をふざけて使ったりするような言動は、当事者にとって精神的苦痛となり、働きづらさや生きづらさにつながります。日本では、人口の5%～8%がセクシュアル・マイノリティであると推定されています。皆さんの身近なところにも、差別的な言動に傷ついている人がいるかもしれません。

このような「SOGIハラ」のない職場を目指すためには、どうすればよいでしょうか？

多様な性について理解を深めることが大切です！

価値観や姿、感情などが人によって異なるように、性的指向や性自認も人によって異なります。それぞれが、相手の立場や気持ちを考え、思いやりをもつことが大切なのです。

そうすることで、誰もが自分の性的指向・性自認を尊重され、自分らしく生きることのできる社会を作ることができるのです。

❖「SOGI」とは何？

すべての人が持っている、それぞれの「性的指向」と「性自認」を意味します。性的なあり方の問題は、特定の人の問題ではなく、すべての人に関係するものです。

❖性的指向とは？

どのような性別の人を好きになるか、ということです。これは、自分の意思で選ぶというより、多くの場合、思春期の頃に「気付く」ものです。

❖性自認 （性の自己認識）とは？

自分の性をどのように認識しているのか、ということです。「心の性」といわれることもあります。多くの人は「身体の性」と「心の性」が一致していますが、「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感を持つ人たちもいます。

宮崎県人権啓発推進協議会の事業の紹介

宮崎県人権啓発推進協議会では、大学、NPO、スポーツ組織等と連携して、様々な人権啓発活動を展開しています。

大学と連携した人権啓発活動

♥ 宮崎大学

「子どもの貧困」（講師：南信乃介さん、三輪邦彦さん）、「障がいと人権」（講師：真北聖子さん）、「消費」（講師：藤岡亜美さん、原田さとみさん）、「人権教育」（講師：藤原孝章さん）等に関する講演やワークショップ等を行いました。



大学と連携した事業の様子

♥ 宮崎国際大学

野田あすかさんのミニ演奏会や母親の野田恭子さんの講演会等を行う「野田あすかさんと学生によるミニ演奏会」及びレインボービュー宮崎代表の山田健二さん等を講師に招き「虹色人権フォーラム」を開催しました。

♥ 宮崎産業経営大学

大阪医科大学の玉井浩氏を講師に招き、公開講座「出生前診断と障がい者の人権」を行いました。

民間団体と連携した人権啓発活動

♥ 特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター

劇団こふく劇場代表の永山智行氏等を講師に招き、朗読劇『演じてみよう！「きみのなまえ」』を行いました。



民間団体と連携した事業の様子

♥ 株式会社エムアイビーテレビ

医師の伊東芳郎さんによる講演等を行う『講演会&トークディスカッション「多様な性と人権」』を開催しました。

♥ m20

黒木瑞季さんによる講演会や映画「女になる」の上映を行う「映画と講演のタベ」を開催しました。

♥ 宮崎県自閉症協会

映画「はたらく」の上映と同映画の齋藤一男監督によるトークショーを行いました。

スポーツ組織と連携した人権啓発活動

青島太平洋マラソン大会の会場で、啓発資料の配布等を行いました。

Jリーグ入りを目指すテゲバジャーロ宮崎、J.FC MIYAZAKIと連携して、人権啓発広告を掲載した情報誌等の配布や人権サッカー教室等を実施しました。



スポーツ組織と連携した事業の様子

人権啓発CMコンテスト

次世代を担う若者に、人権に関する映像の制作・応募を通じて人権尊重の大切さについて理解を深め、豊かな人権感覚を身につけてもらうこと等を目的としてコンテストを行いました。8作品の応募があり、宮崎県立妻高等学校放送部の作品が最優秀作品に選ばれました。



最優秀作品の一場面

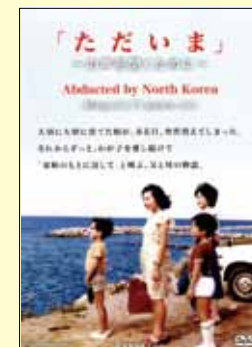
おすすめDVD紹介

宮崎県人権啓発センターでは、人権に関する図書やDVD等を無料で貸し出しています。

*詳しい貸出方法については、次ページをご覧ください。

〈拉致問題〉

『ただいま』～の声を聞くために～



(2009年制作/33分)

大切に大切に育てた娘が、ある日、突然に消えてしまった。それからずっと、わが子を愛し続けて「家族のもとに返して」と叫ぶ、父と母の物語。

「めぐみは北朝鮮の工作船の暗い船底に閉じ込められ『お母さん、助けてお母さん』と壁をかきむしり、絶叫し続けて、暗い海を運ばれたといひます。(横田早紀江)」

〈性的マイノリティと人権〉

『あなたがあなたらしく生きるために』



(2014年制作/30分)

性・セクシュアリティはとて多様です。それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが生きづらさを感じています。誰もがあらままで受け入れられ自分らしく生きられる社会の実現を目指して。入門編としてご活用ください。

〈同和問題〉

『生きた童話を届けたい』～猿まわし・筑豊大介～



(2014年制作/28分)

古来より猿は馬の健康を守る使いとして崇められてきた。猿まわしは部落の伝統芸能であり生業だった。消滅していた猿まわし復活の三原則は、部落問題・人と人とのつながり・平等。そして「生きた童話」の再現だった。猿まわしが、多くの人の心を癒やし平等の輪を作る。

私たちの人権講座

宮崎県人権啓発センターでは、研修・視察（高齢者学級や家庭教育学級など）に来られた方々を対象に「わたしたちの人権講座」を実施しています。DVDや資料を使いながら「人権」について学ぶことができます。

申し込みは、随時受け付けています。場所は当センター内の研修室、定員は1回あたり20名以内です。時間は60分程度ですが、研修内容にあわせて調整は可能です。(研修室使用料、講師謝金、資料代は無料)



宮崎県立看護大学の学生の皆さん（平成30年7月～9月）

「人権出前講座(職員派遣)」も行っています。県内全域から毎年100件ほど依頼があり、人権について話をします。テーマなど詳細は以下のとおり。

【講座のテーマ】

- ・「基本的な人権について」
- ・「職場のパワハラ・セクハラなどのハラスメント防止について」
- ・「性的マイノリティと人権について」など

【派遣先】

民間企業、福祉施設、医療機関、高齢者学級、家庭教育学級、公的機関など

【時間・費用等】

時間については、ご希望に添えるように調整します。交通費・謝金は無料です。

※詳しくは、宮崎県人権啓発センターまでお問い合わせください。

TEL.0985-32-4469 FAX.0985-32-4454

活用してください！宮崎県人権啓発センター

宮崎県人権啓発センターでは、個人や企業、民間団体等を対象にさまざまな活動を行っています。皆様のご利用をお待ちしています。



ジンケンピンク
すべてのものを愛する心（愛情）

**研修会を
実施しています！**

人権担当者養成講座や県民人権講座、人権ファシリテーター養成講座などを開催しています。

**講師の派遣や
紹介をしています！**

企業や民間団体、家庭教育学級等の研修会への職員派遣や、外部講師の紹介を行っています。

**人権に関する相談を
受けています！**

人権啓発専門員が人権問題についての相談に応じます。

専用電話 ☎0985-26-0238

**わたしたちの人権講座を
開催しています！**

センター研修室での人権講座を開催しています。

ほかにも、人権啓発資料の作成、ホームページでの情報提供、図書・DVD等の貸出（下記）も行っています。

宮崎県人権ホームページに
アクセスできます ▶▶▶



無料

図書・DVD等を貸し出しています

当センターでは、人権に関する図書やDVD等を無料で貸し出しています。個人はもちろん、学校の授業や職場の研修等にご活用ください。貸出利用登録の手続きについては、センターにお尋ねください。

◇貸出冊数及び貸出期間

- | | | |
|------|---------------------------------------|------------|
| 図書 | 貸出冊数：3冊以内 | 貸出期間：14日以内 |
| DVD等 | 貸出本数：3本以内 | 貸出期間：14日以内 |
| 機材 | 貸出期間：14日以内（機材…DVDプレーヤー、プロジェクター、スクリーン） | |

◇図書・DVD等について

ライブラリー所蔵の図書・DVD等の種類・内容については、「宮崎県人権ホームページ」に掲載していますので、ご参照ください。また、在庫確認のため、貸出申込みの前に、当センターへお電話くださるようお願いいたします。

じんけんクイズ

障がい者スポーツの祭典「パラリンピック」は、「〇〇」と「オリンピックス」からなる造語。〇〇に入る言葉は？

A パラレル B パラソル C パラパラ

特集ページのどこかにヒントがあるよ！

アンケートハガキに答えと必要事項をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で5名の方に、宮崎のガイドブックを進呈いたします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。応募締切：平成31年6月28日（当日消印有効）

読者's
VOICE!

- 〇とてもためになりました。更生保護については特に勉強になりました。（宮崎市）
- 〇初めて読みました。内容がとても深くてもっと勉強したいと思いました。また読みたいと思います。（宮崎市）
- 〇いつもありがとうございます。人権啓発を地域に広めたいと思います。（日南市）

編集後記

春は花を見る機会が多くなりますが、明るい黄色の花をつけるミモザという常緑高木をご存じですか。イタリアでは3月8日の「女性の日」に、日頃の感謝を込めて男性から女性へミモザの花を贈る習慣があるそうです。

さわやかな春、いつもお世話になっている方（性別問わず）に、日頃の感謝の気持ちを花で表現してみるのはいかがでしょうか。（※国連は3月8日を女性の政治的自由と平等を訴える「国際女性デー」に制定しています。）（加）

宮崎県人権啓発センター

宮崎市橋通東2-10-1 県庁8号館6階
（宮崎県人権同和対策課内）

TEL.0985-32-4469

FAX.0985-32-4454

情報・ご意見などをお待ちしています。
<http://www.m-jinken.jp/>

